

YMCA News

10・11



年間聖句

「平和を造る人々は幸いである。」
マタイによる福音書5章9節(聖書協会共同訳)



日本基督教団神戸栄光教会牧師・
神戸キリスト教青年会 国際委員

やまうち しんぺい
山内 慎平 さん



「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(マタイによる福音書25章40節)。「最も小さい者」とは、貧しい人や苦しんでいる人、社会で疎外されている人々を意味します。この聖書の言葉は、困難な状況にある人々をキリストが自身の家族のように愛していることを示しています。世界には今もなお、多くの「最も小さい者」が存在しています。戦争や災害で苦しんでいる人がいます。抑圧されている人々がいます。YMCAの国際協力基金は、そのような苦しみのない世界を実現するために行う、重要な活動の一つです。

秋から冬にかけて、バザーやチャリティーランが開催される時期は、国際協力募金の強化月間です。国際協力募金は、紛争や災害に苦しむ人々への支援、YMCAリーダーたちの国際活動への支援、神

YMCA 国際協力募金 「最も小さい者」への愛を

戸YMCA学院専門学校の留学生への奨学金や日常生活支援などに使用されます。このように、募金は支援を必要としているさまざまな人々のために役立てられています。

世界120の国と地域に広がるYMCAのネットワークは、支援を必要としている人々を見つけ、その人々が必要な支援につながるように活動しています。そして、その活動を支えているのが国際協力募金です。この募金は、世界がよくなっていくために欠かせないものです。募金によって支援されるのは、皆さんが会ったことのない世界の人々であり、自分たちとは異なる環境で生きている人々かもしれません。しかし、その一人ひとりが誰かにとってかけがえのない存在であり、愛されている一人です。募金は、「あなたは大切な存在です」という愛を示すものです。皆さんの募金によって励まされる人がいます。どうか、助けを必要としている人々に、募金を通じて皆さんの愛を示していただけないでしょうか。国際協力募金へのご協力をお願いいたします。



台湾・高雄YMCA × 神戸YMCA 交流プログラム「Y OPEN 水泳大会」

8月14日(水)から17日(土)の期間、台湾・高雄YMCAから6名のこどもたちが来日し、大阪で行われた「Y OPEN 水泳大会」に参加しました。神戸YMCAからも17名のこどもたちが参加しました。

この水泳大会はYMCA主催で、全国各地のYMCAのこどもたちだけでなく、地域のスイミングスクールに通うこどもたちも参加し、それぞれが日頃の練習の成果を発揮しました。

高雄・神戸の交流セレモニーでは、高雄YMCAを代表して、高校生メンバーが「お互い全力で頑張りましょう!」というメッセージを伝えました。セレモニーで異なる文化や習慣の人々と交わることで、お互いの理解を深め、「自分」が更新される機会となったのではないのでしょうか?

「次は台湾で会いましょう!」という言葉と共に、高雄YMCAのこどもたちを見送りました。スポーツを通して交わり、つながりが生まれた夏でした。



Pick
up

灯台

Light House

No.43

総主事 井上 真二



世界YMCA創立180周年

1844年、イギリスのロンドンで12人の青年が集まり、YMCAが誕生しました。それから180年が経過した現在、120の国と地域で年間6,500万人を超える人々が活動をしています。創立180周年に向けた世界YMCAのソヘイラ・ハリエック会長のメッセージには次のようにあります。

～この偉大な運動が時の試練に耐えることができた魔法の要素は何だろうか。一つは愛、二つ目は人、三つ目は先見性と目的の組み合わせです。私たちは「Y」をはるかに超えて、ゆりかごから墓場まで奉仕し、「M」をはるかに超えて、まさにすべての人に奉仕し、「C」をはるかに超えて、キリス

ト教の信仰を持つ人々、あらゆる信仰を持つ人々、そして無信仰の人々に奉仕し、そして私たち自身がそうであるように努めているのです。～

神戸YMCAの138年の歴史においても、戦災による会館焼失等、幾多の苦難を先人の知恵と祈りで乗り越えてきたことを想像するとき、時代の流れとともに試みてきたこれまでのチャレンジの始まりと終わりを顧みることができます。ともすると、目に見えるもの、かたちのあるものしか実感できないものですが、聖書には、この世界は目に見えない神の意思によって形作られているとあります。YMCAが成そうとすることも、成してきたことも、すべては神様のご計画と確信します。



神戸YMCA/YWCA合同祈禱週 ミッション委員会

毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈禱週とし、1904年以来毎年、世界中のYMCA・YWCAに連なる人々が共に祈りの時を持っています。

この期間に神戸YMCAと神戸YWCAの合同礼拝を守っており、昨年は日本キリスト教団の大仁田拓朗牧師より「人をいかに言葉」と題したメッセージをいただきました。

今年は11月10日(日)から16日(土)が祈禱週として定められており、11月12日(火)9:00から神戸YMCA2階チャペルにて神戸YMCA・YWCA合同礼拝を守ります。ぜひご参加ください。



キッズダンス

ウエルネスセンター学園都市

ウエルネスセンター学園都市には、3歳児から中学生までを対象としたキッズダンスと、中学生以上を対象としたAdvanced Danceクラスがあります。

キッズダンスを中学3年生まで11年間続けたのち、ジュニアボランティアリーダーとして週2回、「ダンスの楽しさを伝えたい」と通う高校生がいます。伝える側に立ってはじめてその難しさを感じながらも、こどもたちに寄り添い成長を喜んでいます。

そんな彼女の姿を見ている後輩たちは、同じように仲間たちに優しく接しています。踊りながら目くばせをしたり、難しいステップを一緒に練習する姿は、まさに「明日の指導者は今日つくられる」という言葉を想起させます。彼女自身もAdvanced Danceクラスで、ダンスの楽しさを先頭に立って表現しています。

8月3日(土)には、メリケンパークで開催された「おいしフェス with きららマルシェ in 神戸 2024 ～Summer Special!～」に参加しました。Advanced Danceクラスのほか、3歳児から50歳代までの多世代が共に大きな舞台に立ち、ダンスを楽しみました。



活躍する卒業生！

神戸YMCA学院専門学校 ホテル学科

ホテルで活躍する卒業生にインタビューを行いました。ご協力いただいたのは、2021年に「神戸ポートピアホテル」に入社した川田尚大さんです。

——学校で学んだことで、現在の仕事に生かされていることは。

現役のホテルエ(ホテル業界で働く人)や専門知識を持つ先生方からサービス業全般について指導いただいたことで、サービススタッフとしてのマインドを持つことができました。実践的な授業も多く、サービス技法などが自分の中に根付いたと感じています。

——実習はいかがでしたか。

3回の実習でリゾートホテルとシティホテルの両方の形態を経験し、自分の適性を知ることができました。また、その経験によって実際に就職した際のギャップが少なく、いち早くなじむことができたのではないかと思います。

——現在の仕事内容は。

宿泊部(ベルスタッフ、フロントスタッフ)に憧れてYMCAに入学しましたが、授業を通じて料飲サービスの魅力を感じ、現在はレストランサービスを行っています。

——入社後に取り組んだことは。

日常の業務の質を高めることはもちろんですが、それに加えて、日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「HRSサービスコンクール」出場を目標に取り組みました。これはホテル・レストランの第一線で活躍するホテルエがサービス技法やマインドを競うものです。実際のお客様の前行うフルーツカット、鴨のデクパージュ(切り分け)、デザート作成などを行い、銀賞を受賞することができました。会社の皆様のご指導やご協力に感謝しています。これからも向上心を持って業務に取り組みたいと考えております。

——ありがとうございました。



R E P O R T

神戸学園都市YMCAこども園

みんなで育てた野菜、おいしかったよ！

こども園では、食育の一環として、こどもたちが毎年野菜の栽培に取り組んでいます。今年、2歳児はピーマンに挑戦。3歳児から5歳児はトマト、きゅうり、枝豆に挑戦しました。5月初旬に苗を植え、それぞれのクラス、グループで水やりや草拔きの当番を決め、先生とこどもたちが力を合わせてお世話をしました。特に今年は、苗植えから収穫まで、クラスの担任だけでなく、栄養士の先生も含めたすべての職員でお世話をすることを心掛けました。

みんなの愛情が野菜たちに伝わったようで、6月中旬には実りはじめました。「すごい！」「どうやって食べ

る？」こどもたちは収穫した野菜を手で厨房に行き、栄養士の先生と、おいしく食べるための「調理会議」を開きました。「調理会議」で決めた方法で調理された野菜を昼食に添えると、「トマト甘くておいしい！」といった声とともに、こどもたちの笑顔がランチルームに広がりました。

2歳児の保護者の方からは、「『ピーマン苦かったけど、がんばって食べたよ』と報告してくれました」といった声も聞かれました。次はどんな野菜を育てようかな…。こどもたちと先生たちでだいま検討中！次のチャレンジを楽しみにしたいと思います。



YMCA西神戸学童保育クラブ

暑くても元気！なこどもたち

西神戸YMCA会館で運営している「YMCA西神戸学童保育クラブ」には、1～6年生のこどもたちが登録し、毎日100名前後の利用があります。

今年の夏は、過去120年の観測史上最高の猛暑と言われ、こどもたちにとって満足に外遊びができな日々が続いていました。そのような中で、身体を思い切り動かして遊びたいこどもたちは、室内でできるドッジボールやサッカー、風船バレー、ダンスなど、限られた環境でもお友達と楽しく遊ぶよう、場所

やルールを考えるなど、工夫を凝らしていました。

室内で遊ぶ時間が長くなりましたが、仲間の存在があることと、みんなの工夫で、運動量が確保でき、楽しい遊びができました。学校が休みでも、毎日楽しく自由にお友達と遊べる学童保育は、今の時代、とても貴重な場所だと改めて感じます。

今後も、こどもたちの大好きな居場所として、最大限に遊ぶ工夫を考えていきたいと思っています。



併設のこども園屋上園庭を借りて水遊び

西宮YMCA発達支援事業

一人ひとりを大切に

西宮YMCAでは、2歳児から就学前のこどもたちを対象とした「児童発達支援事業 まめの木」、小学3年生から高校生を対象とした「発達支援事業 サポートプログラム」を行っています。それぞれのプログラムでは、運動遊びやことば遊び、ルールのあるゲームに取り組んだり、ことばの学習、ソーシャルスキルやコミュニケーションスキルを学んだりしています。さまざまな年齢のこどもたちが集まる会館では、「いっしょにあそぼ」「みてみて～」「リーダーできたよ！」「そうそう、学校でさあ？」と、いろいろな声が聞こえ

てきます。

こどもたちと過ごしていると、大人だけでは気づかなかったこと、知らなかったこと、思いもよらなかったこと……など、こどもたちからたくさんの気づきや刺激をもらいます。こどもたちの視点、素直さや柔軟さを大切にしたいと心から思います。

これからも、こどもたち一人ひとりの存在を大切に、YMCAに来たら楽しくて元気になるような…ある時には、ほんとに安心することができるような…、そんな場所でありたいです。



こくさいのまど

こどもの権利

神戸YMCAが主催団体の一つとなって企画する「多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー」が、8月上旬にJICA関西で開催されました。基調講演にはNPO法人子どもの権利条約総合研究所の浜田進士さんをお招きし、こどもの権利についてお話いただきました。

「子どもの権利条約」には基本となる一般原則が4つあります。それは「差別の禁止」「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」「子どもの意見の尊重」です。神戸YMCAでは、子育て支

援事業や野外活動、地域活動等を通してたくさんのこどもたちとの出会いがあります。皆さまから寄せていただいた国際協力募金やこども奨学金は、世界のこどもたち、外国にルーツを持つこどもたちなど、こどもたちの遊ぶ権利、学ぶ権利のために用いられます。大人はこどもたちの目線に立つことを忘れず、こどもたちの声を聞き、こどもたち自身がたくさんの体験をしながら成長していく姿を応援したいものです。



子どもの権利条約カード

YMCA STORY

YMCAで人や経験と出会い、気づいて築く

いえやま はなこ
日本基督教団箕面教会牧師・神戸キリスト教青年会常議員 家山 華子 さん

私とYMCAとのつながりは、遡れば母方の曾祖父・村松吉太郎から始まっています。曾祖父は、アメリカ滞在中にYMCAで人の温かさに触れ、帰国後神戸でYMCA運動に力を注いだ人でした。私の父もYMCAに関わっていました。埼玉YMCAで聖書研究会を開き、ときどき、私の実家で埼玉YMCAの職員さんたちと食事会をしていました。

そのつながりで、私は大学生のときに埼玉YMCAのフィリピンワークキャンプに参加しました。これが私とYMCAの関わりの始まりです。キャンプでは、貧しい地域に生きながら目を輝かせていることもたちや青年たちとの出会いに心を動かされました。歌って踊るフィリピン人の明るさに影響を受けて、のびのび歌って踊る私に「華ちゃんの今の姿をお父さんに見せてあげたい」と言われてドキッとしたことを思い出します。そして何より、フィリピン人のおじいさんから戦争体験を聞いた経験が、あまりにも衝撃的でした。日本兵がおじいさんの住む村にやってきて、銃声を何度も響か

せ、暴力をふるっていたという話。あるときには赤ちゃんを母親から奪って空中へ放り投げ、銃で撃ち殺すのを目撃した、というお話を聞いて、私は心が痛み、その時はただ、当時の日本人がしたことを謝ることしかできませんでした。キャンプのモットーは「気づいて築く」でした。それ以来私は、人種や民族、さまざまな違いを超えて友達になることを大切にしてきたように思います。

2014年度から神戸YMCAに関わらせて頂いています。専門学校のホテル学科では非常勤で「YMCAと宗教」の授業を担当させて頂き、さまざまな国から日本に来て働くとしている若者たちとの出会いがありました。ユース委員会でも、さまざまな職員さんたちとの出会いがありました。これからも、神戸YMCAで、さまざまな違いを超えて人や経験に出会い、共に気づいて築いていけたらいいなと思っています。

神戸YMCA三宮会館「秋まつり」

地域の皆さまに足を運んでいただき、秋の一日を共に楽しんでいただく機会として、神戸YMCA三宮会館にて「秋まつり」を開催いたします。さまざまな賑わいを通して地域の人々がつながり、交流が深まる機会になればと願っています。「秋まつり」での収益金は、国、地域を問わず、一人ひとりがいのちを輝かせて平和で生き生きと暮らすことができる社会を創り出すために用いられます。皆さま、ぜひご参加ください。

- ◆日 時：2024年10月26日(土) 11:00～15:00 (予定)
- ◆会 場：神戸YMCA三宮会館 (神戸市中央区加納町2-7-11)
- ◆内 容：ミニコンサート、模擬店コーナー、展示物コーナーなど

第26回 神戸YMCAインターナショナル・チャリティーラン2024

神戸YMCAに集まった支援金で「障がいのあるこどもたちが、YMCAのキャンプに参加できるように!」との願いから始められました。

今年で26回目になります。秋の一日、運動を楽しみながら、障がいのあるこどもたちに思いを寄せてみませんか。

皆さまのご支援をお願いいたします。

- ◆日 時：2024年11月4日(月・祝)
- ◆会 場：しあわせの村 (運動広場およびジョギングコース)
- ◆種 目：1/10マラソン、1/100マラソン、グループウォーキングなど

※詳細が決まり次第、ホームページにてお知らせいたします。



神戸YMCA
遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。
神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。
大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要とされる活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

神戸YMCAの願い

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、
日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ワイズコーナー

YMCAとY's

やなぎ としはる
六甲部Yサ・ユース主査 柳 敏晴さん
(神戸西ワイズメンズクラブ)

7月より六甲部Yサ・ユース主査を仰せつかりました。

昔は十年一昔と言いましたが、今は五年一昔、いやそれ以上に社会の変化は速まっています。だからこそ、人と人を結ぶYMCA、Y'sの活動が、より重要になってきています。以下の内容から、YMCAとY'sを考えます。

YMCAのCを11で表しているのを読みました。Culture(文化)、Creation(創造)、Communication(伝え合う)、Community(地域社会)、Charity(キリスト教的愛)、Cheerfulness(喜びにあふれた)、Charming(魅力)、Challenge(挑戦)、Contribution(貢献)、Cooperation(協働)、Christianity(キリスト教)。それぞれの意味を、今の社会の中で、どのように伝えていけるかを考えています。

また、YMCAはウェルネスを推進しています。ウェルネスとは、to have から to be、量から質への転換を迫る問いかけでしょう。ウェルネスは、自分らしく、人間らしく、他者と共に生きることだと考えます。イエスキリストは、他者と共に喜び、悲しみ、労苦する生き方を示されました。

私たちもまた、喜びを共に分け合うライフスタイルを実践し、次世代に夢と希望を与える活動を続けたいと考えています。

感謝 寄附・募金

(敬称略、順不同) (前号掲載以降～8/15まで)

寄 附

山本 常雄、功力 正士、丹羽 和子、佃 治子

子ども奨学金

田中 邦康、山内 慎平

能登半島地震緊急支援募金

河野 順、小泉 啓子、山本 常雄、村田 奈緒美、
あかしこども広場職員有志、
YMCAおひさま非常勤職員有志

国際協力募金

大野 智恵、山内 慎平、
社会福祉法人頌栄会 認定こども園西鈴蘭台頌栄保育園、
西神戸YMCA幼稚園 卒園児保護者他

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。
感謝をもってご報告します。

ファミリーウェルネスセンター	☎078(241)7202
ランゲージセンター	☎078(241)7204
専門学校	☎078(241)7203
西宮YMCA	☎0798(35)5987
余島野外活動センター	☎0879(62)2241
キャンピングサービスセンター	☎078(241)7216
国際・奉仕センター	☎078(241)7204
ウェルネスセンター学園都市	☎078(793)7401
西神戸YMCA	☎078(793)7402
神戸YMCA高等学校	☎078(793)7435
YMCAおひさま	☎078(793)9077

西神南YMCA	☎078(993)1560
須磨YMCA	☎078(734)0183
YMCA保育園	☎078(794)3901
西宮YMCA保育園	☎0798(35)5992
西神戸YMCA保育園	☎078(792)1011
神戸学園都市YMCAこども園	☎078(791)2955
神戸YMCAちとせ幼稚園	☎078(732)3542
YMCAちとせ保育ルーム	☎078(786)3821
西神戸YMCA幼稚園	☎078(997)7705
西宮つとがわYMCA保育園	☎0798(26)1016
あかしこども広場	☎078(918)6355

学園都市YMCA保育ルーム	☎078(794)3045
ユースプラザKOBE・EAST	☎078(891)8222
神戸市立太山寺児童館	☎078(794)4790
こべっこあそびひろば西神中央	☎078(964)5808
神戸市立たかとり児童館	☎078(735)6230
YMCA保育園おひさま分園	☎078(794)4080
おやこふらっとひろば西	☎078(939)4530
西宮市香櫨園留守家庭児童育成センター	☎0798(33)0214
西宮市用海留守家庭児童育成センター	☎0798(35)1522
西宮市浜脇留守家庭児童育成センター	☎0798(34)1444

